

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成 27 年度 石狩川下流河川総合学習支援業務
調査船等を活用した学習支援活動 第 14 回



◇平成 27 年 9 月 14 日 (月) 9:20~11:20
◇参加者 石狩市立緑苑台小学校 4 年生
児童 32 名 教諭 2 名

【学習コース】 弁天丸茨戸川上流コース (茨戸川艇庫船着き場→花畔大橋→水生植物群落 往復)

【学習行程】

時刻	学習内容	
	1 班	2 班
9:20~9:25	集合、挨拶、伝達事項等	
9:25~10:20	弁天丸乗船	植物観察
10:20~11:15	植物観察	弁天丸乗船
11:15~11:20	集合、挨拶、伝達事項等	

【学習内容】

- ◇弁天丸
 - 船上から川や鳥、植物などの自然を観察
 - カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習
- ◇植物観察
 - 川の近くに生息する植物を観察
 - 笹舟つくりと笹舟流し

【参加者からのアンケート】

- ◇弁天丸で行った茨戸川や石狩川で、あなたが発見したものは何ですか
 - 茨戸川が濃い茶色で、石狩川が濁っている茶色でした
 - 定置網群
 - カニをとるしかけ
- ◇体験学習に参加して、もっと知りたいと思ったことは何ですか
 - 弁天丸の長さや重さ
 - 弁天丸の家の中をみたかった
 - 弁天丸の名前の由来

◇茨戸川や石狩川に次に来たとき、やってみたいと思うことは何ですか
川の調査をしているところをみたい
魚釣りをしてみたい
望遠鏡で鳥をもっとくわしく見る

【実施状況写真】



注意事項をしっかりと聞きます



ヒシの群落をみることができました



今と昔の川の形の違い



志美運河水門が見えてきました



ルーペを使って観察



匂いや味を確認します